



倫理基準とはなにか



倫理基準は、TELグループで働くすべての人が、
事業を展開する国・地域の法令と
社内の規程・規則を守りながら、
基本理念・ビジョンの実現を図るために
「とるべき適切な行動」を定めたものです。
倫理基準を遵守することにより、
真のグローバルカンパニーとして社会の期待に応え、
働く従業員が誇りと幸せを感じることができる企業を目指します。

企業倫理とコンプライアンスのあらまし

東京エレクトロングループ倫理基準について

東京エレクトロングループ倫理基準(以下「倫理基準」とします。)は、東京エレクトロン株式会社およびその子会社(以下「TELグループ」または「会社」とします。)の行動規範です。この倫理基準は、TELグループが事業を展開する国・地域の法令および社内規程・規則に従って日々業務を遂行するうえで「とるべき適切な行動」を定めたTELグループ共通かつ最低限の基準です。

倫理基準は、社内規程・規則よりも上位に位置付けられるものです。他方、倫理基準と現地の法令との間に差異が生じた場合は、より厳格なものを優先します。

なお、倫理基準の改廃は、東京エレクトロン株式会社の取締役会の決議によります。

倫理基準の適用範囲

倫理基準は、TELグループの役員(取締役および監査役を含む)、コーポレートオフィサー、執行役員、TELグループのいずれかの法人与自然と労働契約を締結し、TELグループの事業体に労務提供している者(正社員、契約社員、顧問、嘱託者、定年再雇用者、パートタイマー、日々または季節ごとに雇用された労働者)および他企業からの出向者や派遣労働者など会社の業務に従事する者(以下「役員・従業員」と総称します。)に適用します。

TELグループは、調達先などのお取引先さまおよび第三者が倫理基準を遵守すること、または倫理基準と同等の内容の社内規程を遵守することを求めます。

役員・従業員の責任： 倫理基準を読み、理解し、実践してください

基本理念・ビジョンを体現するためには、私たち一人ひとりが日々の業務において倫理基準を踏まえて、実践することが重要です。すべての役員・従業員には、倫理基準の遵守を年に一回誓約することを求めます。

私たちは、共に持続可能な成長を目指すTELグループの一員として、次に掲げることを実践します。

- ▶ 私たちは、正しいことをおこないます。
- ▶ 私たちは、周囲に存在するリスクを認識します。
- ▶ 私たちは、正しく行動するために必要な知識を身につけます。

ただし、物事には、白黒つけられない場合があります。自身の行動に疑問が生じた場合は、次のように自問自答してみてください。

- 私の行動は、法令、倫理基準、社内規程に則しているだろうか。
- 私の行動は、自分自身または会社の評判を傷つけないだろうか。
- 私の行動は、当社を取り巻くステークホルダーに自信をもって説明できるだろうか。

上記の質問の答えが「はい」ではない場合、その行動を続けるべきではありません。日常業務を遂行するうえで疑問がある場合は、上司等に相談してください。

マネージャーの責任

TELグループのすべてのマネージャーは、チームメンバーのコンプライアンス意識を高め、企業倫理とコンプライアンスの文化を推進します。具体的には、次のような行為が求められます。

- 倫理基準に則った行動に関する日々の議論を通じて、チームメンバーが倫理基準およびその他の規程に基づく職責を確実に理解できるようにする。
- 企業倫理やコンプライアンスに反して業績を達成するよう促したり、指示したりしない。違反を防止する。
- 報復を心配することなく、安心して懸念を打ち明けることができる職場環境をつくる。

懸念を提起する／率直に話す

企業倫理およびコンプライアンスに関する懸念を提起して議論することは、会社が発展するために重要です。なぜなら、問題の発生を未然に防いだり、問題が小さいうちに解決したりすることができるからです。日々の業務において、誤った方向に進んでいたり、手続のとおりに進まない場合には、すぐに懸念を提起してください。それは私たちの責任です。

懸念の提起先は、次のいずれかです。

- 直属の上司
- 所属長
- 法務またはコンプライアンス部門
- 人事部門
- チーフ・コンプライアンス・オフィサー

企業倫理およびコンプライアンスに関する懸念事項を匿名で報告する場合（かつ現地の法令上、匿名による報告が認められる場合）、「TELグループ 倫理・コンプライアンスホットライン」を利用してください。365日24時間利用可能な第三者の報告・相談窓口であり、TELグループ内で話されるすべての言語に対応しています。

TELグループ 倫理・コンプライアンスホットライン



URL : tel.ethicspoint.com

TELグループのコンプライアンス部門の役割

TELグループのコンプライアンス部門の役割は、企業倫理または法令等（法令、規制、倫理基準、社内規程・規則）に違反する行動を予防、発見および是正し、TELグループのビジネスが常に法的にも企業倫理的にも正しくおこなわれるようにすることにあります。

TELグループのチーフ・コンプライアンス・オフィサーは役員とともに、適用されるすべての法令および倫理基準を遵守するというTELグループのコミットメントを確実なものとする責任があります。

会社の対応

会社は、誠実に報告された企業倫理およびコンプライアンス上の懸念を真摯に取り扱い、調査担当者を割り当て、調査を実施します。懸念が事実であると判断した場合、必要に応じて懲戒処分を含む是正措置を講じます。また、懸念を報告した者に対して調査等の対応結果をフィードバックします。

すべての役員・従業員は、調査に際して協力を求められた場合には、調査に協力する義務があります。

守秘義務および報復行為の禁止

調査を適切に実施するために守秘義務は重要であり、尊重されなければなりません。調査の秘密を守ることは、会社、通報者、調査の対象者および証人といったすべての人を守ることになります。

情報は、調査の正当な必要性に応じ、最小限度で知る必要がある者に対して開示されることがあります。ほとんどすべての場合において、会社は、調査に関わる者すべてに対して守秘義務を課します。これは、調査担当者および調査責任者についても同様です。守秘義務違反は、懲戒処分事由となります。

会社は、企業倫理およびコンプライアンス上の懸念を誠実に報告した者に対する報復を容認しません。企業倫理およびコンプライアンス上の懸念を誠実に報告した者や調査に協力した者に対して、報復または報復的行為をしてはなりません。報復を受けていると思われる場合は、前述の懸念の提起先に連絡してください。なお、報復および報復的行為は、懲戒処分事由となります。